

サステナビリティ取り組み事例

東京都世田谷区が掲げる「環境共生都市せたがや」構想の実現に向け、地域の低・脱炭素化、デジタル化による業務効率化に貢献

関連するマテリアリティ



地球環境に対する
真摯な取り組み



最適な“移動”の提供による
社会への貢献



パートナーシップによる
価値共創

三菱オートリース株式会社は、東京都世田谷区が掲げる「環境共生都市せたがや」構想の実現に向けて、電気自動車（以下、EV）を中心としたモビリティサービスの提供を通じ、地域の低・脱炭素化、デジタル化による業務効率化に貢献していきます。世田谷区は、今後、公用車（清掃収集車、建機等を除く）に順次EVを導入すると共に、車両予約管理やタクシー配車管理をデジタル化することで、災害時の対応や地域の低・脱炭素化、デジタル化による業務効率化を実現していきます。

■ 取り組みに至った経緯

世田谷区は、「環境共生都市せたがや」構想に向けた最適な車両管理体制として、公用車における、災害時の活用や地球温暖化対策、デジタル化の推進を検討しているなか、一方で、老朽車両の着実な入替や駐車スペース減少による車両台数の抑制を課題としており、これらを全て解決すべく本取り組みに至りました。

■ 取り組みの概要

三菱オートリースが世田谷区の課題に対して、次のソリューションを提供して参ります。

① 公用車リース一括管理

⇒世田谷区所有車両 197 台をリース化し、地域整備事業者とタイアップし、点検整備、継続検査などの管理を一元化する

② ZEV（ゼロ・エミッション・ビークル）を中心とした公用車の最適な入替を支援

⇒新規で導入する公用車の80%はZEVを採用し、令和8-9年度には公用車におけるZEV比率を約50%まで高める

③ 公用車の予約管理システムの導入

⇒通信型ドライブレコーダーと予約管理システムを活用し、庁内における車両予約管理の仕組みをデジタル化し、車両の効率的な活用を図る

④ タクシー配車システムと連携やガソリン給油カードの発行

⇒庁内における利用から請求の仕組みをデジタル化し支払手続きを集約化することで業務効率の向上を図る